

## 第 2 学年 2 組 社会科学学習指導案

平成 25 年 3 月 12 日（火） 第 3・4 時限目

指導者 刈田瑛斗、菊地達八、佐藤琢真

高橋拓匡、橘瑚津絵、武藤貴史

1. 題材名 「進化し続ける伝統工芸～今後の樺細工の方向性とは～」

2. 生徒と題材

(1) 生徒について

2 年 2 組は計 39 名で、落ち着いた雰囲気を持つクラスである。授業に対しては、多くの生徒が真面目に取り組む姿が見られる。しかし、発表するなどの表現活動に関しては、少々消極的な面も見られるのが現状である。

生徒たちは、現行学習指導要領社会編地理的分野の「(2) 日本の様々な地域 ウ. 日本の地域 (カ) 生活・文化を中核とした考察」を取り扱った授業において、秋田県仙北市角館の「樺細工」や大館市の「曲げわっぱ」等を例に、伝統工芸について学習してきた。しかし、秋田県にも伝統工芸があるということを知ったものの、まだ伝統工芸の内容的な部分の知識が浅いような状態である。特に、樺細工に関しては、樺細工そのものを知っているが、詳しい歴史や技術は知らないようである。歴史的背景のもと、受け継がれてきた技術を駆使して作られる樺細工の伝統を、次世代へと受け継いでいく必要がある。そのためには、まず樺細工の歴史的背景やその特徴、現在抱えている課題などを生徒自身でしっかり考え、見につけることが求められる。

(2) 題材について

本時で扱う本題材は、樺細工の歴史的背景やその特徴などを理解し、現在の樺細工のあり方について考えることができることをねらいとしている。

樺細工は江戸時代を起源に受け継がれている伝統工芸である。安定して伝統を受け継いでいるかのように思われて、その過去には隆盛や衰退を繰り返し、一時期には樺細工業界の危機をも経験している。しかし、それでも樺細工を伝統として受け継いできたのは、職人たちやそれに携わる人々の熱い思い、そして時代に応じたアイデアや商品を出し続けていったからこそである。そして現在、平成 20 年に起こった世界的な不況や平成 23 年に

起きた東日本大震災の影響もあり、またもや樺細工の需要が低下している。この需要の低下に対して、樺細工業界では営業努力を行うとともに、現在のライフスタイルに合った商品開発を平成 22 年度より開始している。平成 18 年度と 24 年度の販売額を比較しても、伝統的な茶櫃は約 85% も減少している一方で、ギフトアイテムの茶筒（モダン的なデザインのものも含め）は約 2 倍も増加している。そして新作商品も増加傾向にある。加え、樺細工のよさが海外でも認められ、海外需要が年々増加していることも事実である。これらの要因から、平成 22 年から 23 年までの生産額の低下を緩やかにしているのである。

こうした現状を踏まえ、樺細工の現在に迫っていききたい。

### （3）指導について

「（2）題材について」より、この現在の樺細工のあり方とは、樺細工が持つ本来のよさ—気密性や吸湿性、そして樺細工独自の色合いや触感等の素材など—を活かしつつ、時代の流れや人々のニーズに応じて変化しているということに気付かせたい。

そのために、樺細工が持つ本来のよさについては、樺細工についての 2 種類の双六を用い、歴史的背景や特徴を遊びながら学ばせる。双六についてはただ行うのではなく、最終的にはキーワードを使いながら知識をまとめられるようにする。その際、遊びに集中させないように学習プリントを使ってメリハリをつけた授業にするように配慮する。また、時代の流れや人々のニーズに応じた変化を理解させるために、グラフのデータや変化表、海外需要に対する新聞、映像資料を用いる。実際の変化について視覚的にとらえさせることで、生徒の理解につなげたい。

### 3. 単元の構想（2 時間取り扱い）

第 1 時：「樺細工のすごろくゲーム」を意欲的に取り組むことによって、樺細工の特徴や歴史的背景について理解する。

第 2 時：需要増加に関する現在の取り組みを踏まえながら、今後の取り組みの方向性について考える。

#### 4. 授業の概要

##### ◆ 1 時間目

##### (1) ねらい (1/2 時間目)

「樺細工のすごろくゲーム」を意欲的に取り組むことによって、樺細工の特徴や歴史的背景について理解することができる。(関心・意欲・態度)(知識・理解)

##### (2) 展開

時間	学習活動	教師のかかわり	備考・評価
導入 8分	1. 樺細工に関するプレゼンを見る。	○樺細工への関心が高まるように、プレゼンで写真資料を用いながら説明していく。	○プレゼン資料
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">           学習課題：樺細工にはどんな歴史や特徴があるのだろうか？         </div> 2. 歴史的背景または樺細工の特徴について理解するため、「樺細工のすごろくゲーム」を行う。  (1) 樺細工の歴史グループ、樺細工の特徴グループに分かれる。  (2) 各グループで「樺細工のすごろくゲーム」を行い、樺細工の歴史的背景や特徴についてプリントに記述する。	○T1、T2に分かれて、各グループですごろくを行わせる。 ・樺細工の歴史的背景のすごろく(T1) ・樺細工の特徴のすごろく(T2)  ○樺細工の特徴のすごろくについては、工程に沿って、写真資料を提示しながら説明する。  ○早く終わったグループには、次の活動の発表の準備をさせる。	○学習プリント① ○写真資料 ○すごろく ・すごろく盤 ・さいころ ・コマ ・クイズカード  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             「樺細工のすごろくゲーム」を意欲的に取り組んでいる。(観察)  <b>【関心・意欲・態度】</b> </div>
まとめ 12分	3. 「樺細工のすごろくゲーム」で学んだ歴史的背景や特徴について、発表し合い、プリントにまとめる。	○すごろくで学んだことをクラス全体で確認させるために、プレゼン資料を用いる。	・プレゼン資料  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             樺細工の特徴や歴史的背景についてプリントにまとめることができている。観察・プリント)【知識・理解】           </div>

◆ 2時間目

(1) ねらい (2/2 時間目)

需要増加に関する現在の取り組みを踏まえながら、今後の取り組みの方向性について考えることができる。(思考・判断・表現)

2) 展開

時間	学習活動	教師のかかわり	備考
展開① 10分	1. 現在の樺細工の課題に関するスライドを見て、状況を知る。	○生産額の低下が悪循環を生みだし、事態を深刻化させていることを理解させるため、プレゼンを用いて説明する。 ○事態の深刻さという切実性をもたせるために、樺細工従事者の立場になって危機を捉えさせる。	○学習プリント② ○プレゼン資料 ・樺細工の生産額の折れ線グラフ
展開②	学習課題：危機を乗り越えるために、どのような取り組みをしているのだろうか		
8分	2. 補助プリントをもとに、現在どんな取り組みをしているのかについて個人で考える。	○補助プリントを適切に読み取らせるために、事前に引いたラインを中心に読み取るように指示する。	○補助プリント ・平成21年度以前の商品表 ・平成22年度以降の商品表
18分	3. 現在の取り組みをもとに、今後の取り組みの方向性がどうなるのかについてグループで考える。	○話し合いが活発ではないグループに対して助言を行うため、机間指導を行う。 <b>【予想する生徒の反応】</b> ・現代の生活に合った商品開発を行っていく。 ・海外の需要に合わせ、市場を開拓していく。	・新聞記事 ・販売額の推移
8分	3. 実際の樺細工の製品や海外で使われている様子がわかるビデオを視聴する。	○ビデオが見えるところに移動するよう生徒に指示する。	時代の必要性に 応じて変化していることについて 言葉や文章で表現することができる。 (発表・プリント) <b>【思考・判断・表現】</b>
まとめ 6分	4. 今日学んだことについてプリントにまとめる。指名された生徒は、記入内容を発表する。	○本時の学びを学習シートにまとめさせ、数名に発表させる。	○プレゼン資料 ・樺細工の生産額の折れ線グラフ

4. 資料

◆ 榎細工のすごろく (作業工程編)

## 榎細工すごろく(作業工程編)

### スタート

**秋田県  
仙北市角館  
が有名  
10KPGET**

**山桜の品種  
ヤマザクラ  
10KPGET**

**山桜の品種  
オオヤマザクラ  
1マス進む**

**山桜の品種  
オオヤマザクラ  
1マス進む**

**山桜の品種  
カスミザクラ  
1マス進む**

**山桜の品種が  
例年より多い  
1回休み**

### ゴール

**特選工職人の  
代表的な人物  
経徳明さん  
もう一回サイコロ**

**榎の語源は  
アイヌ語の  
「クリンパニ」  
どういう意味だろうか  
10KP減点**

**角を削ぎ皮に  
換ができる  
1マス戻る**

**多く使われている機  
種はA皮  
20KPGET**

**半分終了  
残る工程はあと3つ  
1マス進む**

**QUIZ①**  
山桜から皮を採り製品に  
合わせて皮を切る

**QUIZ②**  
カンナで削ると  
機種ができる

**QUIZ③**  
山桜の皮を  
型に合わせて切る

**QUIZ④**  
型を外し、ふたをつくるな  
どして仕上げる

**QUIZ⑤**  
磨いて  
光沢を出す

**特選工を用いたUS  
Bメモもある  
1マス進む**

**1つのふたに  
合う筒は1つしかない  
30KPGET**

**3色の茶筒も  
つくること  
ができるが  
技術が必要  
20KP減点**

**上手く密着でき  
なかった  
20KP減点**

**コテを熱すぎて  
少し焦げてしまっ  
た  
2マス戻る**

**後継者が不足  
3マス戻る**

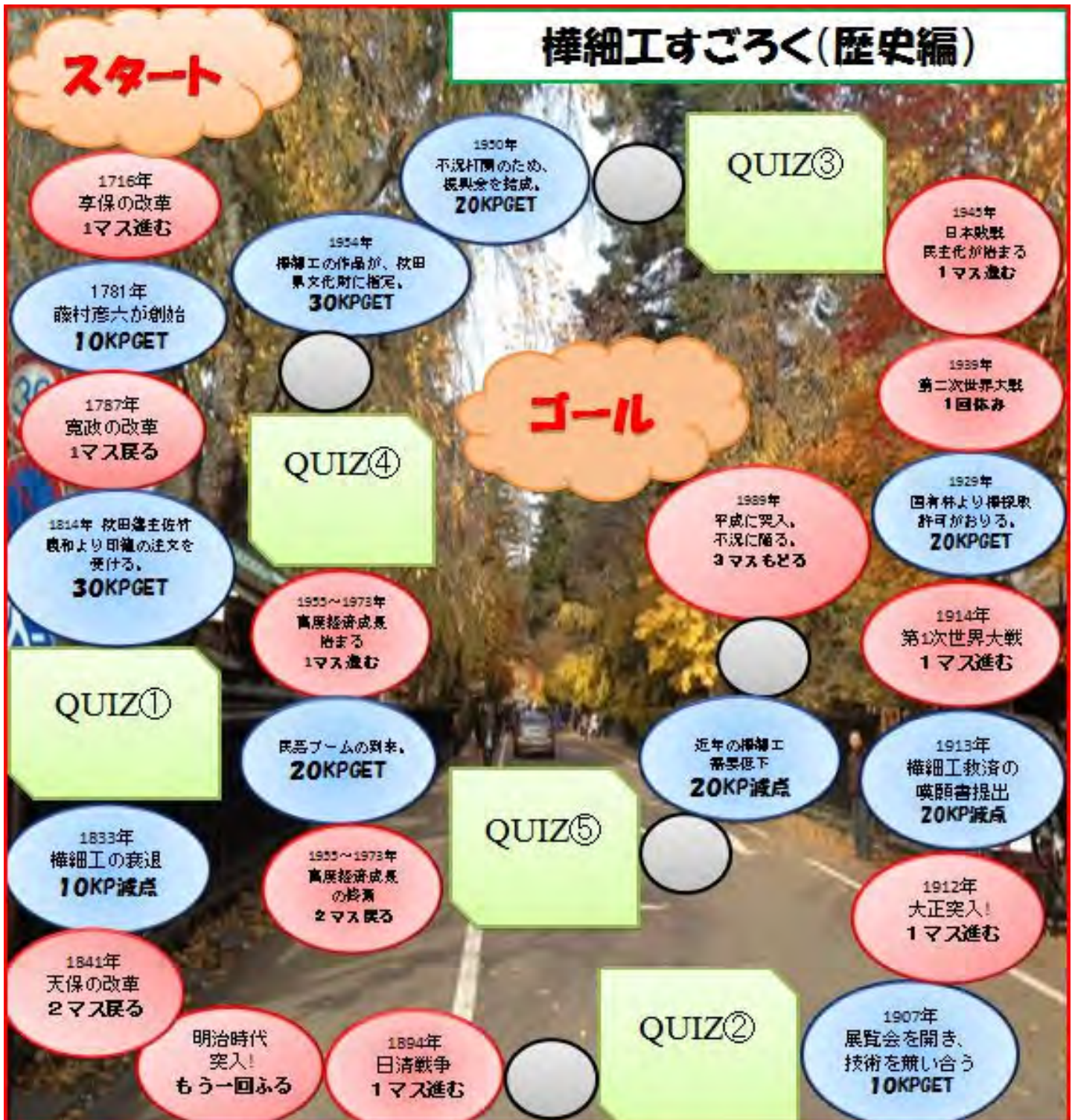
**後継者の高齢化  
2マス戻る**

**茶筒は型もの  
の代表作  
30KPGET**

**ブローチはたた  
みもの代表作  
20KPGET**

**筆箱は木地も  
の代表作  
20KPGET**

◆樺細工すごろく（歴史編）



## 樺細工の特徴と製品ができるまで

年 組 氏名 ( )

◎樺細工の工程すごろくを進めながら、丸をつけたり空欄を埋めたりしていきましょう！

**○工程**

① 山桜の皮をとって、製品に合わせて皮を切る。



② カンナで削ぐと、  
模様ができる。



③ 山桜の皮を型に巻きつける。



④ 型を外しフタを作るなどして仕上げる。



⑤ 磨いて光沢を出す。





完成！

<p><b>&lt; 気候的特徴 &gt;</b></p> <p>①山桜は湿度が（ 高い・低い ）ところでよく育つ。 ⇒日本の気候は湿度が（ _____ ）ので、山桜が育つのに適している！</p>	<p><b>&lt; 独特の風合い &gt;</b></p> <p>②約（ 6・12・35・100 ）種類の模様がある。 ⑤（出来立ての製品 ・ 使い始めて20年が経過したもの）の方が、光沢がある。 ⇒樺細工独特の色合いや触感、さらに光沢が生まれる！ 伝統的な樺細工の模様として全国的にも有名！！</p>	<p><b>&lt; 特質 &gt;</b></p> <p>③「樺」には（ しまる・光る・ 湿る・モラル ）という _____ 意味がある。 ④茶筒のフタは、（フタ用の筒を新しく作る ・ 一つの筒を切ってフタを作る）。 ⇒（ _____ ）や（ _____ ）が高く、（ _____ ）が入るのを防ぐ働きがある！</p>
--	--	--

### 三行道場

◎ 日本の気候的特色を踏まえながら、樺細工の特徴についてまとめてみよう!!

独自の技術を用い、


# 樺細工の歴史

年 組 氏名 ( )

◎樺細工の歴史すごろくを進めながら、丸をつけていきましょう！

1781年 藤村彦六が樺細工を作り始める。ちょうどこの頃は、江戸時代！  
【①農民 ②職人 ③商人 ④武士(士族)】の手内職として、樺細工が流行する。  
しかし・・・  
天保の飢饉の影響で、武士が各地の一揆を取り締まることとなり、  
樺細工が作られなくなる。

1904年 日露戦争の戦費拡大による不況のため、樺細工が売れない。

1907年 不況打開策として、  
【①組合を設立 ②県に樺細工の保護を要請 ③訪問販売を開始】

1945年 日本が第2次世界大戦で敗れたことにより、物資不足。  
→樺細工が売れる。職人も約1000人！  
しかし・・・  
①製品の質が下がった ②原料の質が落ちた  
③他地域に品質のよい樺細工ができた こと、  
安価で丈夫な商品が登場したことにより、樺細工が売れない。

1954年 上記から樺細工が売れないため、  
職人が【①300 ②150 ③30】人程までに減少・・・

1964年 民芸ブーム到来により、樺細工が売れる。

1976年 樺細工が  
【①伝統的工芸品に指定 ②世界遺産に指定 ③秋田県文化財に指定】される。



そして、現在樺細工はどうなっているのでしょうか・・・

## 三行道場

◎ 樺細工の歴史について、その起源や需要の変化に注目してまとめてみよう!!

約200年前に始まった樺細工は、



◆学習プリント②

年 組 番 氏名

---

学習課題：

◎どのような具体的な取り組みがあるだろうか？

◎取り組みからわかる樺細工にかかわる人たちの今後の活動の方向性とは何だろうか？

私たちの班の考え：

他の班の考え：

◎DVD を視聴して、気づいたことや感じたことをメモしよう！

◎本時を振り返って考えたことをまとめてみよう。